



地球子どもサミット Ocean's47 に参加した竹内俊颯さんからの報告です。

◇ 地球子どもサミットOcean's47に参加しました

参加イベント:地球子どもサミット Ocean's47「地球子どもサミット®2019×海と日本 PROJECT」

テーマ:「僕らの地球」海洋プラスチックごみについて考えよう!

日時:2019年8月8日 10:00~16:00

場所:衆議院第一議員会館 多目的ホール

内容:① 10:00-12:00 いろんな専門家に海の話进行しよう!(敬称略)

- 1 東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター 主幹研究員 及川幸彦
- 2 GODAC インタープリター 澤野健三郎
- 3 ライフセービング協会 飯沼誠二
- 4 舞浜倶楽部 グスタフ・ストランドル

② 13:00-15:00 「地球子どもサミット2019」の傍聴

③ 15:00-16:00 サミットふりかえりと、各都道府県へ持ち帰る宿題の確認

今年の G20 大阪サミットでも話し合われた海洋プラスチックごみ問題、この問題は私たちが思っている以上に深刻で、ものすごいスピードで進行しています。その証拠に 2050 年には海洋プラスチックごみが海の生物を超えるといわれています。そして、その結果として様々な面で悪影響を及ぼします。例えば、海の生物に網が絡まって動けなくなったり、ストローが鼻に詰まって呼吸困難になったりするという事です。もちろん海の生物に影響があるだけでなく、これは私たちの生活にも影響があります。

この現状に対策をしている企業もありますが、少しでもこの問題を解決していくには、私たちひとりひとりがこの現状を知り、何ができるかを考えそれを実行していくことが必要であるとわかりました。



<https://www.earthchildrensummit.org/ocean-s-47/>

◇ 地球子どもサミット Ocean's47 に参加した感想

今回のプロジェクトには「Ocean's47 こども特使」岐阜県の代表として参加させていただきました。高校生の今、このような貴重な話を聞いたことをとても幸せに感じました。海洋プラスチックごみの問題は、内陸の岐阜県だから関係ない、普段使わないから関係ないのではなく、プラスチックの消費者としてひとりひとりが責任をもち、きれいな海を次の世代へと伝えていくために何ができるかを考えていくことが大切だと思いました。私たち一人ひとりができることは限られていますが、一人ひとりが行動しなければ何も変わりません。できることを少しずつ行動に移していきたいと思ひます。

